

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

1960年8月10日創立

2013～2014年度



第54代会長 出口敬純
第54代幹事 横山 貢

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915
メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2014年4月3日(木) 第2620回例会 天候:雨 司会:古知屋光洋副幹事 No. 36

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

茅ヶ崎RC・茅ヶ崎湘南RC合同お花見例会 於:善谷寺

- ◇歌唱 「君が代」「奉仕の理想」 ◇会長挨拶 ◇幹事報告
- ◇卓話 「道元禅師の教えとその生涯」 浅田正允様 (茅ヶ崎湘南RC 前善谷寺住職)

◎会長挨拶

茅ヶ崎RC:出口敬純君
茅ヶ崎湘南RC:数田 亨君

◎幹事報告

割愛

◎委員会報告

池上会員[情報]:平成12年に茅ヶ崎RCが里山公園に植樹したけやきについての情報

◎例会変更

☆藤沢北 4/4(金) ポルトヴィーノ (米山奨学生 歓送会)

5/2(金) 休会 (クラブ定款による)

☆藤沢北西 4/17(木) 12:00点鐘 (少年の森清掃活動)

◎スマイル報告

中山富貴子会員:全員スマイル 26件、26,000円です



左からソングリーダーの岩澤会員・吉田会員、司会進行の古知屋副幹事



左) 出口敬純茅ヶ崎RC会長 右) 数田亨茅ヶ崎湘南RC会長



左から委員会報告の池上会員、出席報告の大箭会員、スマイル報告の中山会員

◎出席報告 大箭剛久会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
4/3	2620	38	32+1	26	2	5	84.85%	
3/13	2618	38	32+5	31	2+1	3	89.19%	91.89%

卓話『道元禅師の生涯とその教え』

茅ヶ崎湘南RC 浅田正允様

◆道元禅師

曹洞宗の開祖。福井県大本山永平寺のご開山を為す。
正治二年（1200）～建長五年（1253）

父親：内大臣久我通親公 母親：摂政藤原基房公の娘
京都で裕福な家庭に生まれたが、早くに両親を亡くしたこともあり、この世の無常を感じ、14歳で出家する。

◆道元禅師が詠まれた歌として伝えられているものの中から二首

「峰の色 漠の響きもみなながら わが釈迦牟尼の声と姿と」

[大意] 永平寺での修行生活を通して、永平寺と永平寺を取り巻く全ての環境に、釈迦牟尼仏の肉身と肉声を実感した

「草の庵に 寝ても覚めても申すこと 南無釈迦牟尼仏 あわれみたまえ」

[大意] 永平寺での修行生活の中で、寝ても覚めてもひたすら身体いっぱい、心いっぱいで南無釈迦牟尼仏を唱えていた

◆53年の生涯に影響のあった人たち

天台座主 公円僧正（道元禅師は公円僧正のもとで得度出家）

三井寺 公胤僧正（道元禅師に栄西禅師の門を叩くよう勧める）

建仁寺 栄西禅師（天台宗の僧であり、中国から禅宗の一派で臨済宗黄竜派という禅の新風を日本に伝えた優れた僧。建保3年（1215年）死去）

明全和尚（栄西禅師の弟子で道元禅師の師匠。師弟で中国に渡ったが、明全和尚は中国で客死）

天童山景德寺第三十一世 如浄禅師（道元禅師終生に

亘る大恩人で越格の禅将。道元禅師により後世に名を残した人とも言われる）

◆道元禅師が到達した心境

「身心脱落」（しんじんだつらく）身体とか心が、従来のあらゆる束縛から解放されて絶対の自由を得たこと

「眼横鼻直」（げんのうびちよく）眼は横に鼻はまっすぐ。つまり自然そのものを云う

「空手還郷」（くうしゅげんきょう）中国より何の土産もなく、空手で還って来た

中国から帰国後、天福元年、34歳の時、京都に興聖寺を建立。興聖寺では、中国の僧堂を模範とした本格的な僧堂（坐禅堂も兼ねる）を造る。ここで10年間坐禅の仏法を説いた。

「自分のことより先に、他人のために良い事をせよ。しかも目立たないで、一生懸命尽くして行く事が一番尊いことである」と説かれ、この精神を生涯つらぬかれた。

◆道元禅師の執筆した書物

「普勸坐禅儀」「弁道話」「学道用心集」「典座教訓」「正法眼蔵」他

「正法眼蔵随聞記」は高弟の懐奘により、道元禅師の言葉をまとめて作られたもの

◆晩年の道元禅師と七百五十回大遠忌

寛元2年（1244）：道元禅師は越前に大仏寺建立。後に名前を変えて現在の吉祥山永平寺となる。土地は六波羅にいた篤信者・波多野義重により寄進された。

宝治元年（1247）：執権・北条時頼の招請により鎌倉に下向したが、翌年永平寺に戻る。

平成14年（2002）：道元禅師滅後750年。大本山永平寺で七百五十回大遠忌が全国曹洞宗15,000寺の後援を得て盛大に奉修された。

